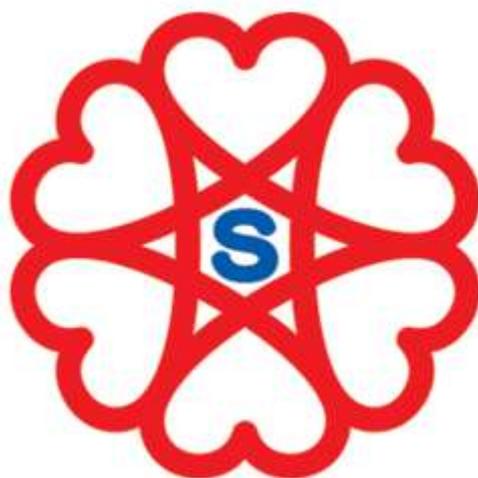


商工会女性部全国組織化45周年記念
第13回商工会女性部全国大会 in とやま
エクスカーショント観光地紹介



全国商工会女性部連合会
富山県商工会女性部連合会

スポット①

【新川エリア】

黒部峡谷（トロッコ）・宇奈月温泉

【概要】

●黒部峡谷・トロッコ電車

「黒部峡谷」は、北アルプス・鷲羽岳を源として長さ86km、標高差3000mを流れ下る「黒部川」の上・中流域に切り立った深いV字峡を形成する大峡谷です。ここを走るトロッコ電車は、もともとは黒部川の電源開発用の建設資材や作業員を運ぶための鉄道として誕生しました。始発の宇奈月駅から終点の樺平駅まで、沿線には黒部峡谷の見どころが満載。全長20.1kmを片道約1時間20分かけてゆっくり走るトロッコの旅。感動はノンストップです。



●宇奈月温泉

県内随一の温泉地の宇奈月温泉は、黒部峡谷トロッコ電車の出発口に位置し、黒部川電源開発の歴史とともに大正・昭和・平成の時代を歩んできました。

山深い里のひっそりとした温泉地ですが、海までは約20km、30分で日本海に到着します。旬の山の幸とキトキト（新鮮）の海の幸が楽しめます。

温泉の泉質は無色透明の弱アルカリ性単純泉。日本有数の透明度で、昔から「美肌の湯」と言われています。



【MEMO】

- ・トロッコ電車の運賃は、宇奈月 - 樺平間（往復）3,320円。事前のご予約をお勧めします。団体割引等有り【お問い合わせ】(株)ニュージャパントラベル（担当：三枝、数井）TEL(076)441-2000
- ・宇奈月温泉はとてもコンパクトな温泉街。30～40分程度で主なポイントを散策できます。
【お勧めポイント】 温泉噴水、やまびこ遊歩道、宇奈月ダム、セレネ美術館、黒部川電気記念館、足湯いっぶく・おもかげ、etc
- ・「宇奈月麦酒館」は、宇奈月温泉と黒部ICの間に位置します。地元産二条麦と黒部の名水で作られた地ビールを楽しめます。レストラン向隣のうなづき食菜館（道の駅）は、ビール館オリジナル商品に加え、地元特産品など各種お土産をご用意しております。

【関連ホームページ】

●黒部峡谷鉄道株式会社 <http://www.kurotetu.co.jp/>

●一般社団法人 黒部・宇奈月温泉観光局
<http://www.kurobe-unazuki.jp/>

●セレネ美術館 <http://www.unazuki.org/selene/>

●宇奈月麦酒館 <http://www.unazuki-beer.jp/>

【新川エリア】

立山山麓

【概要】

●立山黒部アルペンルート

立山黒部アルペンルートは、富山県立山町の富山地方鉄道立山駅と長野県大町市の大糸線信濃大町の間、富山県最高峰で日本百名山の一つ立山を間近に見る室堂平や黒部ダムを通る山岳観光ルートです。秋には、室堂や弥陀ヶ原（みだかはら）で紅葉を楽しみながらグリーンツーリズムを楽しめます。



●称名滝

主峰雄山を源に地獄谷、弥陀ヶ原高原、大日岳の清水を集めた称名峡谷から4段となって一気に流れ落ちる称名滝は、落差が日本一の350メートルもあって、国の名勝、天然記念物に指定されています。春に現れる落差500メートルのハンノキ滝（ネハンの滝）の圧巻、夏には滝しぶきによる清涼感と豊富なマイナスイオンを全身に受け、また秋には見事な紅葉をお楽しみください。



●立山博物館

立山博物館は、立山信仰の世界とその舞台となった立山の自然をテーマとしています。博物館は展示館と遥望館（ようぼうかん）、まんだら遊苑（ゆうえん）を中心に構成するとともに、教算坊（きょうさんぼう）（宿坊）・閻魔堂（えんまどう）・布橋（ぬのばし）といった当時の建物を巡ることによって、信仰の世界を浮かびあがらせようとしています。芦峯寺の町並み全体が博物館として機能するように構成されています。



【MEMO】立山連峰の麓で壮大な自然の中のグリーンツーリズムを体験できます。

【関連ホームページ】

●立山黒部アルペンルート

<http://www.alpen-route.com/index.php>

●称名滝

<http://www.tate-yama.com/travel/syou/syou.htm>

●立山博物館

<http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/home.html>

【富山エリア】 越中八尾観光会館（曳山会館）、八尾街並み**【概要】****●越中八尾観光会館（曳山会館）**

毎年9月1日から3日にかけて行われるこのおわら風の盆は、全国から大勢の観光客が訪れます。越中八尾観光会館ではおわら踊りが定期的開催されており、華麗な舞台踊りに加え、三味線・胡弓の独奏そして出演者と観客が一体になって踊る輪踊りで心ゆくまで「おわら」がお楽しみいただけます。10月14日には商工会女性部全国大会用に特別ステージを用意します。(有料)

**●八尾街並み**

八尾町は、江戸時代につくられた当時のたたずまいを色濃く残し、どこか城下町の商人町を思わせる町並みが続きます。越中と飛騨との交通の要所として富山藩唯一の交易市場として繁栄を重ね、江戸時代以降は、養蚕を全国各地へ算出することで繁栄しました。歴史を語る伝統的な街並みは、日本の道百選通りと命名され千本格子の家並みが続いています。

**【MEMO】**

越中八尾観光会館では、商工会女性部全国大会用おわら特別ステージを予定しています。
10月14日 午前10時～ 1時間程度

【お申し込み・お問い合わせ】(株)ニュージャパントラベル(担当:三枝、数井) TEL(076)441-2000

【関連ホームページ】**●越中八尾観光会館（曳山会館）**

<http://www.yatsuo.net/kankou/KAIKAN/>

●富山市八尾山田商工会

<http://www.yy-toyama.jp/>

※参加人数に応じ、昼食場所等をご紹介します。(担当:勝原事務局長)

スポット④

【富山エリア】

ライトレール、富山市岩瀬
※（富山でバスを利用しない参加者推奨）

【概要】

●富山ライトレール

富山駅北から岩瀬まで、次世代型路面電車（ライトレール）が走り、地域に密着した安全・安心・快適で環境にやさしい公共交通です。愛称はポートラム。7色の電車で運行され、全国から多くの鉄道ファンのみならず、岩瀬地区の街づくりにも視察に訪れています。



●富山市岩瀬

岩瀬は古くから日本海側の主要港として知られ、室町時代末に成立した日本最古の海洋法規集”廻船式目”の中で定めた三津七湊の1つに数えられています。「北前船廻船問屋」森家をはじめ、多くの町屋が軒を連ねる古い町並みが残され当時の繁栄ぶりを窺うことができます。



●岩瀬カナル会館

ライトレール終点の岩瀬浜駅周辺にあり、岩瀬の代表的な白えび料理や地魚料理を楽しめるほか富山のお土産も購入できます。大型バスも駐車可能です。



【MEMO】

JRや航空機で来県され、富山県でバスを利用されない女性部推奨スポットです。
※富山駅を出発し、ライトレールで岩瀬を散策して2時間程度のコースになります。

バスをご利用の場合は、岩瀬カナル会館をご利用下さい。

【関連ホームページ】

●富山ライトレール <http://www.t-lr.co.jp/>

●北前船廻船問屋森家

<http://www.city.toyama.toyama.jp/other/shisetsuannai/morike.html>

●岩瀬カナル会館 <http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/canal/>

【射水高岡エリア】

瑞龍寺、氷見フィッシャーマンズワーフ

【概要】

●瑞龍寺

高岡の開祖前田利長公の菩提寺曹洞宗の名刹。3代藩主前田利常の建立で、壮大な伽藍配置様式の豪壮にして典雅な美しさに圧倒されます。山門、仏殿、法堂が県内で初めて国宝の指定を受けました。「山門」は重層入母屋造りの柿葺きで総檜造り、上層に宝冠釈迦如来と十六羅漢、下層左右に金剛力士像を配置しています。「仏殿」は屋根が本瓦形鉛板葺きになっており、47トンの重さがあります。内部には高さ6尺の須彌壇、創建当時の天蓋などがあります。「法堂」は銅板葺き総檜造りで仏殿の約2倍の広さを持ち、内陣には利長公の位牌が安置されています。



●氷見フィッシャーマンズワーフ

平成12年4月21日にオープンした『氷見フィッシャーマンズワーフ海鮮館』は、氷見のキトキト（新鮮な）の海の幸、山の幸など、一番美味しいものを一番美味しい時にをコンセプトに提供する直販施設で、約200席の海鮮レストランでは朝獲れの魚を使った自慢の魚料理も味わえます。

施設は道の駅を兼ね、中の情報センターは観光情報などの発信基地として機能しています。



【MEMO】 国宝と、富山のキトキトの海の幸を堪能できるスポットです。団体での昼食等の予約はお早めに以下のホームページなどから、お問い合わせ下さい。

【関連ホームページ】

●瑞龍寺 <http://www.zuiryuji.jp/>

●氷見フィッシャーマンズワーフ
<http://www.kaisenkan.com/>



【概要】

●海王丸パーク

海王丸は、商船学校の練習船として、誕生した帆船です。昭和5年2月14日に進水して以来、59年余の間に106万海里(地球約50周)を航海し、11,190名もの海の若人を育てました。海王丸パーク(平成4年7月5日完成)では、この海王丸をシンボルとして、現役当時の姿のまま、公開しています。

パーク内にはイベント広場・日本海交流センター・野鳥園、みなと交流館等の施設があり、大人も子どもも1日ゆっくりと憩うことができるベイエリアとなっています。

また、海王丸に全部で29枚ある帆をすべて広げる総帆展帆が年10回行われています。



●新湊きつときと市場

新湊フィッシャーマンズワーフ「新湊きつときと市場」は“富山湾の宝石”と称される白エビをはじめ、ベニズワイガニ、ほたるいか、ブリ、ズワイガニ、バイガイなど新湊漁港で獲れたての海の幸が豊富な海鮮市場です。

また、館内の海鮮レストラン「きつときと亭」は朝獲れの魚介類をつかった自慢の魚料理も味わえます。そのほか、館内では特産の海産物や里の幸、お土産品など豊富に揃えています。



【MEMO】海の貴婦人「海王丸」周辺では富山湾の恵み、きつときの鮮魚などをあつかう飲食店が多数あり、特産の白エビ、ベニズワイガニなど旬の新鮮な魚介類を堪能できるスポットです。団体での昼食等の予約はお早めに以下のホームページなどから、お問い合わせ下さい。周辺にあるカモンパーク新湊(道の駅)では、NHKの番組で人気投票全国1位になった「白えびかき揚げ丼」や、白えびバーガーなども販売しています。

【関連ホームページ】

●海王丸パーク

<http://www.kaiyomaru.jp/>

●新湊きつときと市場

<http://kittokito-ichiba.co.jp/>

●カモンパーク新湊

<http://www.shinminato.co.jp/>

【砺波エリア】 越中五箇山 相倉合掌集落

【概要】

●越中五箇山 相倉合掌集落

富山県南砺市（旧東砺波郡平村）相倉にある合掌造り集落です。現存する合掌造り家屋は20棟で江戸時代に建てられた家が多いです。

「合掌造り」とは、日本有数の豪雪地帯で知られる白川郷・五箇山地方で、特徴的に見られる急傾斜の切妻造り・茅葺きの民家のことです。1階は大工の手で造られ、屋根を構成する合掌部分は村人が自分達で造ったものです。広い屋根裏では養蚕が行われていました。

史跡として保存される範囲には、これらの民家だけでなく、田畑・山林・池・道路・屋根葺きに必要な茅を取る「茅場(かやば)」や、集落を雪崩から守るための「雪持林(ゆきもちりん)」までもが含まれます。相倉を訪れると、集落と周りの環境とが織りなす美しい風景を目の当たりにすることができます。

相倉合掌集落は、平成7年に世界文化遺産として登録された文化財保護地域です。



【MEMO】

▼問合せ先

世界遺産相倉合掌造り集落保存財団 電話番号 0763-66-2123 F A X 番号 0763-66-2180
五箇山観光協会 0763-66-2468

▼世界遺産保存協力金（駐車料金）

・大型バス(30人以上) 3,000円 ・小・中型バス(11人以上) 2,000円 ・普通車、軽自動車 500円 ・二輪車 100円

▼ボランティアガイドによる解説（一週間前まで要予約） 1,500円（ガイド1人の交通費）

▼記念写真 1枚 1,000円

▼アクセス 車をご利用の方

- ・東海北陸自動車道 五箇山 IC から国道 156 号を平方面へ 20 分
- ・東海北陸自動車道 福光 IC から国道 304 号を平方面へ 25 分

【関連ホームページ】

●五箇山観光総合案内所

<http://www.shokoren-toyama.or.jp/~gokayama/top.htm>

●世界遺産相倉合掌造り集落保存財団

<http://www.g-ainokura.com/>

●五箇山和紙の里

<http://washi.city.nanto.toyama.jp/>

●道の駅上平「ささら館」

<http://www.gokayama.jp/meguri/sasarakan.html>

【砺波エリア】 いなみ木彫りの里創遊館、瑞泉寺・八日町通り

【概要】

お寺と日本一の規模を誇る木彫りの里。

●いなみ木彫りの里創遊館（道の駅井波）

いなみ木彫りの里創遊館は、日本一の木彫りの産地井波地域にある彫刻のアメニティ施設です。大画面で井波地域の民話や自然を知覚できるシアターや、若き匠たちの技を見学できる匠工房、気軽に彫刻やクラフトづくりを体験できるくりえ〜と工房、井波彫刻を展示・販売する井波彫刻総合会館などを備えています。また、お風呂やレストランも完備していますので、休憩にもご利用ください。



井波彫刻は、両面から風景や花鳥などの「透かし深彫り」の技法が特徴で、国内外で高い評価を受けています。欄間や衝立、獅子頭、天神様などに代表される木彫は、仕上げまでに200本以上のノミ、彫刻刀を駆使する高度な技であり、国の伝統的工芸品に指定されています。

●瑞泉寺と八日町通り

北陸浄土真宗の拠点として、600有余年の歴史を誇る名刹「瑞泉寺」。勅使門にある「獅子の子落とし」をはじめ、本堂の隅竜、太子堂の手挟、猓木鼻など、井波彫刻の粋が集結しています。井波はその門前町として栄えてきました。中心を貫く八日町通りは緩やかな坂道に石畳が敷かれ、古い街並みと共に落ち着いた風情を醸し出しています。特に多くの彫刻工房が軒を連ねるこの通りでは、あちこちから職人達の振るう木槌の音が聞こえてきます。



【MEMO】

▼瑞泉寺 【拝観時間】 8:30～16:30 【拝観料】 一般 300円（寺内の説明もあり）
【休館日】 無休（要確認）（問合せ先） TEL：0763-82-0004

▼いなみ木彫りの里創遊館 【営業時間】 9:00～17:00 【定休日】 第2・第4水曜日
【主な施設】 匠工房（木彫刻見学工房）、くりえ〜と工房（木彫刻体験工房）、木の香浴泉ゆら湯（お風呂）
きつつき倶楽部（和風レストラン）、なんと楽市（物産展示即売）
（問合せ先） TEL：0763-82-5757

▼アクセス 車をご利用の方・東海北陸自動車道 砺波ICから国道156号を井波方面へ15分
・東海北陸自動車道 福光ICより井波方面へ20分

【関連ホームページ】

- いなみ木彫りの里創遊館 <http://www.kibori.co.jp/>
- 真宗大谷派 井波別院 瑞泉寺 <http://www.geocities.jp/inamibetuinzuisenji/>
- 南砺市観光協会 <http://www.tabi-nanto.jp/>
- 井波観光協会 <http://inami-kankou.group.nanto-e.com/>

【砺波エリア】

宮島峡、メルヘン建築

【概要】

●宮島峡

小矢部市の市街地から車で15分くらい走ると、自然がいっぱいの場所にたどり着きます。宮島峡は、伝説と緑にあふれた溪流で、ハイキングコースが整備されており、遊歩道沿いに滝（一の滝・二の滝）や洞窟、子撫川沿いにブロンズのビーナスが並びます。

宮島峡は“彫刻の里”としても広く知られ、12の女神が出迎えてくれます。



●メルヘン建築

小矢部市では、公共施設そのものに文化的価値を持たせたメルヘン公共建築を昭和51年から計画的に建築してきました。これらは、古今東西を問わず建築分野において最高水準を誇り、この建築物を通じた文化的な地域づくりや市民文化の意識の高揚が期待されています。

このユニークな35の公共施設は現在、マスコミ等により全国で紹介され、いつしか『メルヘンの街おやべ』と呼ばれるようになりました。



【MEMO】

▼アクセス 車をご利用の方

北陸自動車道小矢部ジャンクションより能越自動車道に入り小矢部東インターへ、もしくは、小矢部ジャンクションより北陸自動車道を金沢方面へ進み小矢部インターにてお降りください。

【関連ホームページ】

●小矢部市観光協会 <http://www.oyabe.info/sightseeing/sightseeing.html>

●道の駅メルヘンおやべ <http://www.michinoeki-meruhen-oyabe.com/>

●クロスランドおやべ <http://www.city.oyabe.toyama.jp/cross/>

見学施設・体験施設等紹介

●ますのすしミュージアム

ますのすし製造工程を見学できます。

本店 富山県富山市南央町 37-6

- 電話 : 076-429-7400
- 営業時間 : 9:00~17:00
- 駐車場 : バス 30 台 普通車 100 台
- 見学時間 : 約 30 分 見学無料
(ご自由にご覧いただけます。)

※お食事も可能です。お食事は 2 日前までにご予約ください。

<http://www.minamoto.co.jp/index.html>

●越中反魂丹本舗 池田屋安兵衛商店

- 電話 : 076-425-1871
- 営業時間 : 10:00~18:00
- 住所 : 富山県富山市堤町通り 1-3-5

※健康膳のご予約は電話でご予約ください。

<http://www.hangontan.co.jp/yakuto.html>

●細工かまぼこ

○梅かまミュージアムU-m e i 館

- 電話 : 076-479-1850
- 営業時間 : 8:30~16:30

http://www.umekama.co.jp/contents/u_kannai.html

○夢テラス海王

- 電話 : 0766-84-8282

<http://www.shinkama.co.jp/kaiou/index.html>

●かきもち工場

○日の出屋製菓産業株式会社 ささら屋本店工場

- 電話 : 0763-52-301
- 営業時間 : 9:30~11:30, 13:30~15:30

<http://www.sasaraya-kakibei.com/tenpo/fukumitsu/index.html>

○日の出屋製菓産業株式会社 立山工場

- 電話 : 0763-52-301
- 営業時間 : 9:30~11:30, 13:30~15:30

<http://www.sasaraya-kakibei.com/tenpo/tateyama/index.html>